



ゴミ収集について ―日本とアメリカの違い― About Garbage collecting

都会に住んでいると決まった曜日にゴミ収集車がやってくるのですが、日本とアメリカの場合ではいくつか違いがあります。とりあえずざっと比べてみました。

日本:

- 収集車のサイズが小さい
- 来る時間が早朝ではない(午前8時～10時頃が多い)
- 収集日が週に何回もある
- ゴミ分別が何種類かに分かれている
- 収集車のスタッフが手作業で車にゴミを入れる
- ゴミは焼却炉で燃やす
(不燃ゴミや再生リサイクルゴミを除く)

アメリカ:

- 収集車がビッグサイズ
- 早朝に来る
- 収集日は普通は週1回だけ(多い地域でも週2回)
- ゴミ分別が細かい
- 収集車がロボット風
(機械がゴミ箱を持ち上げ、中身を車の中に放り込む)
- 廃棄ゴミは基本的に埋立地に埋める



Tony Maschietto(トニー・マシート)

アメリカ、サンフランシスコ出身。USAT理工学、英語教職課程終了後、教育分野での経験は15年以上。専門学校や都内大手企業の英語研修を数多く担当。2017年8月より、クラブエールではテレフォン英会話レッスンを担当。

違いの理由は、アメリカは土地が広いから、というのが大きいかもしれません。

土地が広いので、ゴミ集積地のスペースも余裕がある



頻繁に収集せず、大型車で大量に収集。収集回数は少ない



- 広い土地にゴミを埋める
- 生ゴミは各自でコンポスト(肥料)化する
- 家具などの大型製品は、支援団体への寄付やガレージセールなどで処分する

カリフォルニア州ではスーパーなど小売店でのビニール製レジ袋が禁止になり、再利用可能なレジ袋(主に紙製)が有料販売されるようになりました。

ですが、車で来て、自分で買ったものをそのまま車に積み込んで帰る人が多いので、そもそも袋はあまり必要ないです。

最近、日本でもレジ袋が有料になってきたのはいいことだと思います。

Key



Phrases

- **The garbage trucks in Japan are much smaller, in comparison to ones in the U.S.A.**

日本のごみ収集トラックは、アメリカと比べるととても小さいです。

*garbage truck ゴミ収集車